

2025 年 9 月 9 日

株式会社三菱 UFJ 銀行

京都フュージョニアリング株式会社に対する JBIC との協調融資について

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、京都フュージョニアリング株式会社（代表取締役 CEO ^{こにし きたし} 小西 哲之、以下 KF 社）に対して株式会社国際協力銀行（代表取締役総裁 ^{はやし のぶみつ} 林 信光、以下 JBIC）と連携し、協調融資（以下 本ローン）を実施いたしました。本ローンは KF 社とカナダ原子力研究所（以下 CNL）の合弁会社であるカナダ法人 Fusion Fuel Cycles Inc.（以下 FFC 社）の事業資金に活用されます。

KF 社は 2019 年に京都大学で培われた研究開発技術をベースに設立されたスタートアップであり、核融合発電の社会実装により、世界のエネルギー問題の解決に貢献することを企業理念に据えています。今般、FFC 社が主体となり、「UNITY-2」¹の建設を進め、世界唯一となる燃料循環システム統合実証が開始されます。本ローンは同建設資金等を支援するものです。

今回締結したスキームは、当行が JBIC との協調融資で、中堅・中小企業の海外事業展開を支援するものです。当行は本スキームを通じて政府系金融機関である JBIC と連携し、新産業の育成、脱炭素社会の実現、海外事業展開の後押しに取り組んでいます。

当行は、従前より次世代産業の一翼を担うスタートアップに対し、資金供給やビジネスマッチング等を通じて、積極的な支援を継続しています。本ローンを通じ、MUFG ネットワークを最大限活用しながら日本経済の競争力強化に繋がる次世代の産業育成に貢献すると共に、クリーンな新エネルギーとして世界規模で研究開発が進められているフュージョンエネルギーの社会実装に向けた取り組みを支援してまいります。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（以下 MUFG）は「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて優先的に取り組む 10 の課題を特定しており、本ローンはその課題のうち「産業育成・イノベーション支援」と「カーボンニュートラル社会の実現」に寄与する取り組みであると位置付けております。MUFG は、引続きグループ一体でスタートアップ領域の持続的な成長を支援すると共に、中長期的な環境・社会課題の解決および日本の産業の更なる発展・拡大に貢献してまいります。

【本ローンの概要】

組成金額：総額 20 百万カナダドル²

資金使途：FFC 社によるフュージョン燃料サイクルシステムの統合的な試験施設の建設費用等

貸付人：JBIC、当行

【KF 社の概要】

名称	京都フュージョニアリング株式会社（代表取締役 CEO 小西 哲之）
設立	2019 年 10 月
URL	https://kyotofusioneering.com/
所在地	東京都大田区平和島六丁目 1 番 1 号 東京流通センター 物流ビル A 棟 AW1-S
事業内容	フュージョンエネルギープラントのエンジニアリング事業

^[1]フュージョン燃料サイクルシステムの統合的な試験施設。燃料の排出から回収、供給までの一連の D-T（重水素とトリチウムによる核融合反応）燃料サイクルを構築し、効率的なトリチウム処理技術の実証を行う

^[2]JBIC（FFC 社に直接融資）：10 百万カナダドル、当行（KF 社を通じて融資）：10 百万カナダドル相当の日本円

以 上